

## 令和6年度 府立丹後緑風高等学校網野学舎 学校経営計画（スクールマネジメントプラン） 実施段階

| 学校経営方針（中期経営目標）  | 前年度の成果と課題   | 本年度学校経営の重点（短期経営目標）  |
|---|---|---|
| <p>1 スクール・ミッション「企画経営科・普通科を設置する学舎制高校として、確かな学力や起業家精神、豊かな表現力、コミュニケーション能力を育み、新しい価値を創造し社会に貢献できる人材を育成する。」を教育活動の中に明確に位置付け、その具現化を図る。</p> <p>2 生徒信条の精神にのっとり、夢や将来の目標に向けて主体的に努力する姿勢や、豊かな表現力、社会に貢献する姿勢、他者と協働して課題に取り組む力を育成する。</p> <p>3 地域の中学生から選ばれる魅力ある学校づくりを推進する。</p> | <p>（成果）</p> <p>1 広報では、公式Instagramを新たに開設し、外部発注の紹介動画を含め、生徒の様子を発信できた。</p> <p>2 地域人材・コーディネーターの活用を普通科にも広げ、両学科での探究活動・課題研究等が充実した。</p> <p>3 学習時間調査において、自主的な学習に取り組む姿勢が一定身に付いた。</p> <p>4 高い部活動加入率を基盤に、遅刻数も少なく、年間を通じて落ち着いた学習環境を維持した。</p> <p>5 国公立大学合格者5名、就職内定率100%など生徒の希望進路実現をサポートすることができた。</p> <p>6 外部講師による講演会等、啓発のための学習機会を確保することができた。</p> <p>（課題）</p> <p>1 一人一台端末が標準となる学習環境に適応させた授業改善をさらに進める必要がある。</p> <p>2 新たに変更を加えた「総合的な探究の時間」を、外部人材を有効活用し組織的に進めていく必要がある。</p> <p>3 様々な領域において効果的な学舎合同の行事・取組について検討し実施していく必要がある。</p> <p>4 生徒が主体的に参加するボランティア活動により地域貢献やキャリア意識の高揚に繋げる必要がある。</p> <p>5 1、2年生に進路希望が未定の生徒が複数存在しており、進路意識のさらなる向上が必要である。</p> <p>6 中学生やその保護者に向けて、本学舎に対する理解をさらに深める広報・取組の工夫が必要である。</p> | <p>1 グラデュエーション・ポリシーの具現化に向けた取組の計画的な推進</p> <p>(1)「総合的な探究の時間」「課題研究」の充実<br/>(2)多様な表現活動の展開<br/>(3)一人一台端末の環境を前提とした組織的な授業改善</p> <p>2 学舎制を活かした教育活動の充実</p> <p>(1)合同部活動・遠隔授業の充実<br/>(2)農商連携の一層の推進<br/>(3)効果的な学舎合同行事・取組の検討・実施</p> <p>3 進路指導の充実</p> <p>(1)3年間を見通した計画的・組織的な進路指導<br/>(2)希望進路実現に向けた実践力の養成<br/>(3)保護者等との積極的な進路情報の共有と連携</p> <p>4 広報活動の充実と保護者連携の推進</p> <p>(1)本学舎の特色・魅力の積極的発信<br/>(2)保護者との効果的な情報共有</p> |

評価はA～Cの3段階で表記しています。 A：十分達成できている。 B：概ね達成できている。 C：あまり達成できていない。

| 評価領域  | 重点目標                           | 具体的方策  | 評価 |   | 成果と課題   |
|-------|--------------------------------|--|----|---|---|
| 組織・運営 | 学舎制の特徴を活かした教育活動の推進             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的な学舎間連携を強化し、遠隔授業、合同部活動の円滑な実施を図る。</li> <li>・学舎間連携（プレゼンテーション大会、修学旅行、美書展等）の行事を進める。</li> </ul> 【学舎間連携取組：年間10回以上】<br>【対象生徒への学舎連携に関するアンケート：肯定的回答80%以上】 | A  | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学舎連携の取組を進め、生徒の満足度も概ね高かった。</li> <li>・農商連携では、合同での販売実習や商品開発を行うことができた。</li> </ul> <b>【遠隔授業・合同部活動・修学旅行・芸術鑑賞・美術書道作品展・緑風祭・プレゼン大会・みらいのタネ・農商連携等、10件以上を実施、修学旅行・芸術鑑賞での満足度は99%以上】</b> |
|       | 教職員や学校組織の資質能力の向上による学校の教育推進力の向上 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・センター研修の受講及び校内研修を計画的に進め、本学舎の教育活動に反映させる。</li> </ul> 【センター研修の受講：延べ30回以上】  | B  |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度から受講数は大きく伸びた。</li> <li>・こまめな情報提供を継続していく。</li> </ul> <b>【センター研修の受講：のべ29回】</b>   |
|       | 教職員の働く環境等の改善                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務のペーパーレス化やスクラップの推進を図る。</li> <li>・教職員間の情報の共有や連携を進めることで、業務の効率化や協働体制を強化する。</li> </ul> 【退勤率：19時30分退勤率80%以上】   | A  |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・退勤率の目標は達成できた。</li> <li>・ペーパーレス化は一定の進捗がある。</li> <li>・各取組の効果的な実施に向けた見直しを進めている。</li> </ul> <b>【退勤率82%】</b>   |
| 学習指導  | 主体的に学ぶ生徒の育成①～自主学習              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の自主的な学習習慣を確立するための取組を推進する。</li> </ul> 【学習時間調査での目標時間の達成率：90%】  | B  | B | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習に向かうための方策や、学習方法に関するサポートなど別のアプローチが必要である。</li> </ul> <b>【第1回80.3%、第2回91.7%、第3回75.1%、第4回77.5%】</b>   |
|       | 主体的に学ぶ生徒の育成②～授業改善              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット等のICT機器を活用した授業を展開する。</li> <li>・AL型授業を推進する。</li> </ul> 【授業アンケート：「先生はICTを活用した授業を展開している」の回答が4段階評価のうち3.5ポイント以上】                                   | B  |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回の授業評価で3.48ポイントとなり、多くの教員がICTを用いた授業展開をしている。</li> </ul> <b>【座学のみ3.48ポイント（前期より上昇）】</b>   |
|       | 表現活動・探究活動の充実                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・探究的活動や表現活動を取り入れた授業を実施する。</li> </ul> 【全教員の取組：年間1回以上の実践】   | B  |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な活動の実践が見られた。</li> <li>・実施時期や内容などを整理して、生徒がそれぞれに集中できるスケジュール管理や、探究の方法やまとめ方を統一する必要が出てきてい</li> </ul>   |

|  |                      |   |   |   |   |
|--|----------------------|---|---|---|---|
|  |                      |   |   |   | る。<br>【実践をしている21名(70%)】   |
| 生徒指導<br>「スリーC」<br>①コミュニケーション<br>②コントロール<br>③チャレンジ<br>の力を育成する取組 | 生活や態度を調整できる力の育成      | <ul style="list-style-type: none"> <li>全教職員であいさつ、身だしなみ、礼儀・マナー、時間厳守等を指導し、社会人として必要な力を育む。</li> <li>情報モラル講演会・交通安全指導等を実施し、危険予測・回避行動ができる力を育成する。</li> </ul> 【校門遅刻：10回以下、交通事故：0件】 | A | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>全体的には良好な生活環境が保たれている。</li> <li>あいさつ、化粧、服装、コンビニでのマナー、SNSのマナー等は継続的な指導が必要である。</li> <li>講演会等は予定どおり実施出来た。</li> </ul> 【校門遅刻：4回、交通事故：0件】   |
|  | 心と体を調整できる力の育成        | <ul style="list-style-type: none"> <li>高い部活動加入率を維持するとともに、体力向上や感性を磨く活動への参加を促す。</li> <li>生徒会活動を通して、生徒の創意・工夫する力を引き出す。</li> </ul> 【部活動加入率：80%以上】                              | A |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>一定の部活動加入率は確保できている。</li> <li>生徒会活動では、生徒からのアイデアを活かした活動を進めたい。</li> </ul> 【部活動加入率：82.3%】   |
|  | 人間関係を調整できる力の育成       | <ul style="list-style-type: none"> <li>いじめを見逃さず、早期発見・早期対応をするために、教員間での情報交流を密接に行う。</li> <li>ボランティア活動を推進し、キャリア教育・地域貢献の充実を目指す。</li> </ul> 【ボランティア参加生徒数：年間のべ1000人以上】           | A |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「いじめアンケート」を実施し早期に対応している。今後も生徒観察、こまめな情報共有に取り組む。</li> <li>ボランティア活動では、最終的に参加生徒数のべ1000人を達成した。</li> <li>ボランティア活動をキャリア教育に繋げることを目指したいが、コロナ禍の影響が残り受け入れが進まない業種があることが課題である。</li> </ul> 【ボランティア参加生徒数：年間のべ1249人】 |
| 進路指導   | 3年間を見通した計画的・組織的な進路指導 | <ul style="list-style-type: none"> <li>進路希望未定生徒へ個別面談を実施する。(各学期)</li> <li>生徒の学力について教員間で認識を共有する。</li> </ul> 【進路希望未定者数：1年生5人以内、2年生0人】  | B | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>2学期調査後、未定生徒に面談を実施した。</li> <li>8月9月職員会議にて、スタディーサポート、進研模試の結果分析を行った。</li> </ul> 【進路希望未定者 1年生8人、2年生6人】   |
|  | 希望進路実現に向けた実践力の養成     | <ul style="list-style-type: none"> <li>個別面談、模擬面接等を計画的、継続的に実施する。</li> </ul> 【就職内定率：100%、進路希望実現率：90%以上】   | A |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>就職希望生徒への面談を1人5回程度、面接指導を4回程度実施した。</li> <li>進学希望生徒への小論文や面接、国公立2次試験に向けた個別指導を実施した。</li> </ul> 【就職内定率100%、進路希望実現率98%】   |

|              |                                    |  |   |   |  |
|--------------|------------------------------------|--|---|---|--|
|              | 保護者等との積極的な進路情報の共有と連携               | <ul style="list-style-type: none"> <li>保護者へ進路情報を直接提供する。(進路指導部が面談に同席する。)</li> <li>【「進路だより」の発行：年5回】</li> </ul>   | A |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>PTA 進路指導委員会の取組として福知山公立大学オープンキャンパスに参加した。</li> <li>2月に進学費用に関する講演会を実施した。</li> <li>【「進路だより」5回発行】</li> </ul>   |
| 保健・安全教育      | 健やかな心身の育成                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>外部機関と連携し講演会を実施する。(性教育、薬物防止、スマートフォン使用)</li> <li>保健、美化委員会の活動を充実し、感染症予防を含めた教室環境の整備、健康啓発活動の取組を推進する。</li> <li>スクールカウンセラーを活用した教育相談に積極的に取り組む。</li> <li>【講演会の実施：各学年1回】</li> <li>【教育相談・いじめ対策・特別支援教育会議：毎月実施】</li> </ul> | A | B | <ul style="list-style-type: none"> <li>性教育(3年)、薬物乱用(全学年)、LGBTQ(1年)の講演会を実施した。</li> <li>委員会活動として放送で感染症予防について啓発した。</li> <li>スクールカウンセラーを生徒、保護者が有効に活用することができた。</li> <li>教育相談・いじめ対策・特別支援教育会議を1・2学期に3回ずつ開き、生徒対応に生かした。</li> <li>【講演会：1年2回、2年1回、3年2回】</li> <li>【教育相談・いじめ対策・特別支援教育会議：1・2学期3回実施】</li> </ul> |
|              | 安全意識の向上と危機対応能力の育成                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>防災委員の活動や防災訓練を通して、防災意識の高揚を図る。</li> <li>授業や部活動等の様々な場面で生徒の怪我予防の啓発を推進する。</li> <li>【校内での事故発生率：10%以下】</li> </ul>  | C |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>防災委員のストップ点検活動はできているが、啓発活動はできていない。</li> <li>授業や部活動では怪我が非常に多い状況が続いている。引き続き、予防の取組を行っていく。</li> <li>【事故発生率：12月末時点 17%】</li> </ul>  |
| 人権教育         | 生徒の人権意識の高揚と今日の人権問題の解決に向けた具体的な行動の促進 | <ul style="list-style-type: none"> <li>より良い社会を築こうとする意欲の向上と今日の人権問題を正しく理解させる取組を推進する。</li> <li>人権3法について理解し、共生社会の重要性を正しく認識させる取組を推進する。</li> <li>【人権ホームルームの実施：各学年2回以上】</li> </ul>  | A | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>各学年で計画通り人権ホームルームを実施することができた。</li> <li>【人権ホームルーム：各学年2回実施】</li> </ul>   |
| 広報活動<br>地域連携 | 広報活動の充実と生徒募集の強化                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>広報誌とホームページ、Instagramにより本学舎の教育活動の特色・魅力を広く発信する。</li> <li>小中高連携の取組を推進し、本学舎への志望意識を醸成する。</li> <li>【中学生対象アンケートの広報に関する項目：肯定的回答 80%】</li> <li>【校種間連携による取組の実施：1回以上】</li> </ul>   | A | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>広報誌のほか、各媒体を活用して本学舎の魅力を発信することができた。</li> <li>緑風祭に参加した中学生のアンケートで、本学舎のHP等の広報活動に対し98%の肯定的な回答を得た。</li> <li>生徒による小学校、中学校での出張授業を実施し好評を得た。</li> </ul>  |

|  |           |   |   |   |
|--|-----------|---|---|---|
|  |           |   |   | <p>【緑風祭参加中学生へのアンケート：本学舎広報への肯定的回答 98%】</p> <p>【小中学校での生徒による出張授業・プレゼンテーションを実施】</p>   |
|  | 地方創生教育の推進 | <p>・地域人材、地域コーディネーターを活用した探究等の取組を推進する。</p> <p>【地域人材を活用した授業：年間 10 回以上】</p> | A | <p>・普通科の総合的な探究の時間、企画経営科の課題研究を中心に、地域コーディネーター、外部企業・人材等と連携した取組を活発に行い、生徒の学びに繋がった。</p> <p>【総合的な探究の時間：地域コーディネーターが毎回の授業に入った。市国際交流協会との連携を実施】</p> <p>【課題研究：外部人材活用 18 件以上、外部との連携多数】</p> |

|              |  |
|--------------|--|
| 学校運営協議会による評価 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールポリシーや具体的な様々な取組の様子から、改革に対する学校の前向きな姿勢がよく表れている。</li> <li>・教育活動の基盤に探究活動を位置づけるとともに、個別最適な指導の実現に向けて多様な指導の工夫に取り組んでいる。</li> <li>・地域に根差した高校として積極的に地域との連携を進めることで地域貢献への関心や意識の高い生徒の育成を進めている。</li> <li>・学舎間の連携が多く行事で進んでいるが、さらに組織マネジメントに関する部分でさらなる連携の深化が求められる。</li> </ul> |
|--------------|--|

|               |  |
|---------------|--|
| 次年度に向けた改善の方向性 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が主体的に学習に取り組む姿勢をさらに育むために授業改善等の方策を進める必要がある。</li> <li>・1、2年生において進路希望をできるだけ具体的に持てるような取組等が必要である。</li> <li>・生徒会執行部の生徒を中心に、生徒が主体的に校則や行事について考える機会を持つ必要がある。</li> <li>・情報共有や会議の方法の改善を進めるとともに、業務の見直しを行って働き方改革を進める。</li> <li>・中学生やその保護者に向けて、本学舎に対する理解をさらに深める広報・取組を進めていく必要がある。</li> </ul> |
|---------------|--|